

町長室から

今日現在

長雨が続いていきます。

前線が居座り続けており、まさにエゾ梅雨といってもいいのかもしれない。

九州・西日本では梅雨前線の停滞により、記録的な大雨で広範囲に200名以上の人命を失い、更に多くの行方不明者の捜索が懸命に続けられています。

災害にあつた皆様、ご家族の皆様、心からお悔やみを申し上げます。たとにもいち早い復興を願いたいと思います。

あれだけの豪雨が十勝を直撃したと考えると、全ての降雨量を十勝川で受け止める事は不可能であり、最下流にある浦幌町に大きな被害をもたらす事は明白で、他人事ではありません。

札幌から北海道防災士会の事務局長である横山春三氏に来ていただき、自助活動についての講演を行っていただきましたが、災害の基本は「自らの身は自らが守る」とことだと強調されていました。

地震などと違って大雨による危険は報道などで各自が把握可能であり、報道や自治体からの

情報を把握して、まず逃げる段取りと、いつ何時そのような状態になるかわからないだけに、最悪の事態に常に備えておくことが必要だと言われました。

最近では想定外という言葉は死語化しており、災害は忘れないうちにやっつけてきます。

町としては、地域住民が助け合える自主防災組織を各行政区ごとに設置していただきたいとお願ひしておりますが、設置と同時に、「ご家庭では万が一の時にどうするか考え、話し合っておくことも必要だと痛切に感じています。自主防災組織の詳細がご不明な場合には、町からご説明に参りますので、遠慮なくご連絡いただければと思います。「備えあれば憂い無し」の言葉をかみ締めましょ。

第2回定例議会が開催され、議場において自治功労者表彰で議員25年以上の田村議長、15年以上の森副議長、杉江議員、福原議員が栄誉をお受けになられました。これまでの活躍に心から敬意を表したいと思ひます。基幹産業の農協と漁協の総会も終了しましたが、平成29年度

は決算的には明暗が分かれた総会となりました。

今年の作況は6月初旬まで良好に推移していましたが、最近の不順な天候で畑の状況が気にかかるところです。

何とか昨年以上の豊穰の秋を農水産ともに迎えてもらいたいものです。

国民健康保険の北海道への広域化で保険料の増減が報道で取り上げられています。浦幌町は一律5千円の引き下げで対応できることになり、町民の皆さんへのご負担を抑えることが出来ました。

「教育の日実践交流会」が開催され、元浦幌中学校長で清水町教育長を経験された横山一男氏にご講演をいただきました。横山氏には浦幌町の教育の日を制定したフォーラムでもご講演していただき、教育の日のスタートを切らせていただいた経緯があります。

この日は昨年引き続き「スマホ・ゲーム機使用のルール」に対し、浦幌学園、上浦幌学園からの取組み状況報告をしていただきました。

横山氏には「基本的な生活習慣及び家庭学習の定着と学力・体力の向上」についてをテーマに講演いただきましたが、浦幌町はコミュニティ・スクールに自信を持って取り組んでいるのがすばらしい、IQ(知能指数)よりEQ(心の偏差値)が大切だ

など情熱溢れる講演をしていただき、会場溢ればかりの聴衆者の感動を呼んでいました。

「浦幌町総合振興計画審議会」の第1回審議会が開催され、今年度からの委員さん30名に3年間の委嘱状を交付させていただきました。

浦幌町の最上位計画である「第3期まちづくり計画」は平成32年度までの10年計画であり、後期3年目に入っていますが、第3期計画の検証とともに、新たな第4期計画についても審議をお願ひすることになります。人口減少社会に真正面から取り組みながら、浦幌町のまちづくりを進めてまいります。

浦幌町長 水澤一廣